



平成26年1月9日

各 位

会 社 名	J ト ラ ス ト 株 式 会 社
代表者の役職名	代表取締役社長 藤澤信義
(コード番号	8 5 0 8)
(上場取引所	東京証券取引所 市場第2部)
問い合わせ先	取 締 役 常 陸 泰 司
電 話 番 号	0 3 - 4 3 3 0 - 9 1 0 0

親愛貯蓄銀行の増資及び同行との役員の内兼任に関するお知らせ

当社及び当社連結子会社であるKCカード株式会社（以下、「KCカード」といいます。）は、本日開催の取締役会において、当社連結子会社（孫会社）である韓国の親愛貯蓄銀行株式会社（以下、「親愛貯蓄銀行」といいます。）が実施する増資を、同行の親会社であるKCカードが引き受けることを決議し、併せて、当社代表取締役社長藤澤信義が親愛貯蓄銀行の会長を兼務することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 増資引受け及び役員兼職の理由

親愛貯蓄銀行は、当社グループが日本国内において培った金融事業のノウハウを活用し、優良な貸付債権の積上げを通じた事業の拡大及び収益力の強化を事業戦略に掲げており、その具体的施策として消費者信用貸付債権の買取りを継続して模索するとともに、新規融資の拡大に注力してまいりました。一方で、資産拡大に伴う自己資本比率（B I S比率）の低下が常に経営の課題として存在しております。

この経営状況を改善するために、当社は、平成26年1月10日を目途に、KCカードを通じて親愛貯蓄銀行が実施する総額50,000百万ウォン<約4,975百万円>の新株（普通株式）発行による増資を引き受けること（以下、「本件増資引受け」といいます。）を決議いたしました。

また、本件増資引受けにあたり、韓国国内における経営環境の変化に柔軟に対応し、意思決定の迅速化、情報の緊密な共有、ガバナンスの強化など機動的な組織運営を図ることにより、一層の業務拡大を促進するために、当社代表取締役社長藤澤信義が、親愛貯蓄銀行の会長を兼務いたします（平成26年1月17日就任予定）。

親愛貯蓄銀行では、本件増資引受けにより調達した資金でB I S比率を改善することができ、さらに2年連続で10%以上を確保することにより、規制緩和で貯蓄銀行にも新たに認められることとなった割賦免許が取得できるなど、より一層業務領域を広げていくことが可能となります。加えて新規貸付けや債権買取りによる優良資産を積み上げていくことにより、更なる事業拡大を目指してまいります。

※1 韓国ウォン=0.0995円で換算

2. 連結子会社の概要

<親愛貯蓄銀行>

(1) 商号	親愛貯蓄銀行株式会社	
(2) 本店所在地	大韓民国ソウル特別市江南区テヘラン路 317	
(3) 代表者の役職・氏名	代表理事 ユン ビョンムク	
(4) 事業内容	貯蓄銀行業	
(5) 資本金	(増資前)	63,900 百万ウォン
	(増資後)	68,900 百万ウォン
(6) 設立年月日	2012 年 8 月 13 日	
(7) 大株主及び持株比率	K C カード株式会社 100.00% (当社 98.54%保有)	

<K C カード>

(1) 商号	K C カード株式会社	
(2) 本店所在地	福岡県福岡市博多区博多駅前 3 丁目 4 番 2 号	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 安藤 聡	
(4) 事業内容	クレジットカード事業、信用保証事業	
(5) 資本金	3,055 百万円	
(6) 設立年月日	1963 年 4 月 26 日	
(7) 大株主及び持株比率	J トラスト株式会社 98.54%	

3. 増資の概要

(1) 増資の金額	50,000 百万ウォン (約 4,975 百万円 : 1 韓国ウォン=0.0995 円で換算)
(2) 発行する株式の種類	普通株式
(3) 発行新株式数	1,000,000 株
(4) 増資引受人	K C カード株式会社
(5) 払込期日	2014 年 1 月 10 日 (予定)

4. 増資にかかる資金調達について

本件増資引受けにかかる資金は全て K C カードの手元資金から充当いたします。

5. 今後の見通し

本件増資引受けによる当社連結業績への影響は軽微であるものと考えております。

以 上